

Tdワクチン

(破傷風・ジフテリア)

知っておきたいこと

Many Vaccine Information Statements are available in Spanish and other languages. See www.immunize.org/vis
多くのワクチン情報文書がスペイン語その他の言語で準備されています。
www.immunize.org/visをご覧ください。

1 なぜワクチン接種が必要ですか？

破傷風・ジフテリアは非常に深刻な病気です。現在米国での症例はまれですが、感染すると多くの場合に重い合併症を伴います。Tdワクチン接種により、青年・成人の破傷風とジフテリア両方の感染を予防することができます。

破傷風・ジフテリアはともにバクテリアにより感染します。ジフテリアは咳やくしゃみを介して人から人へ感染します。破傷風菌は切り傷・擦り傷・外傷から体内に侵入します。

破傷風（開口障害）に感染すると、筋肉がこわばって体全体が痛みます。

• また、あごが動かなくなったり、口を開けたり飲み込んだりできなくなったり、呼吸困難になる場合もあります。破傷風感染者は、最善の治療を受けても約10人中1人が死亡します。

ジフテリアに感染すると、喉の奥に厚い膜ができます。

• 呼吸困難・麻痺・心不全に進展したり、死に至る場合もあります。

ワクチン導入前の米国では、毎年20万件のジフテリアと何百万もの破傷風感染が報告されていました。予防接種の導入後、これらの病気の報告数は約99%減少しました。

2 Tdワクチン

Tdワクチン接種により、青年・成人の破傷風とジフテリアの感染を予防することができます。Tdワクチンは通常10年ごとに促進接種が行われますが、深い切傷や重い火傷を負った場合には、時期が早くても接種することができます。

破傷風・ジフテリアに加えて百日咳も予防できる、別のTdapワクチン接種が、Tdワクチンの代わりに推奨される場合があります。

詳しくは、医師または予防接種担当者にお尋ねください。

Tdワクチンを他のワクチンと同時に接種しても問題はありません。

3 ワクチン接種を避けなければならない場合

- 今までに破傷風またはジフテリアを含むワクチン接種後に、生死に関わるアレルギー反応が見られた場合、Tdワクチンの成分に強いアレルギー反応がある場合、ワクチンを接種してはいけません。何らかの強いアレルギーがある場合は、医師にお伝えください。
- 以下に当てはまる場合、医師にお伝えください：
 - てんかんやその他神経系の問題がある場合、
 - 今までにジフテリアや破傷風が含まれたワクチン接種後に激痛や腫れが見られた場合、
 - 今までにギラン・バレー症候群（GBS）にかかったことがある場合、
 - 接種当日、気分が優れない場合。

4 ワクチンの副反応のリスク

薬の副作用と同様に、予防接種にも副反応が見られる場合があります。たいていの場合症状は軽く、自然に治ります。深刻な反応が出る場合もありますが、まれです。

ほとんどの場合、Tdワクチン接種で問題を引き起こすことはありません。

Tdワクチン接種後にみられる軽度の問題：
(日常生活に支障がなかった例)

- 接種部分の痛み（約10人中8人）
- 接種部分の赤みや腫れ（約4人中1人）
- 微熱（まれ）
- 頭痛（約4人中1人）
- 倦怠感（約4人中1人）

Tdワクチン接種後にみられる中程度の問題：
(日常生活に支障があるが、医師の受診はなかった例)

- 102°Fを超える熱（まれ）

Tdワクチン接種後にみられる重度の問題：
(日常の行動が取れない；医師の診察が必要であった例)

- 接種部分の腫れ・激痛・出血および／または赤み（まれ）



ワクチン予防接種後に想定される問題:

- 予防接種などの医療処置を受けた場合、気を失う場合があります。15分程度座る、または横になることで失神を避け、転倒してけがをすることが防げます。目がくらんだり、視野に変化があったり、耳鳴りがする場合は医師に知らせてください。
- 接種後に肩に激痛があったり、接種した方の腕が動かしくくなる場合があります。これらが見られる場合は非常に稀です。
- どのような薬も強いアレルギー反応を引き起こす可能性があります。このような反応は大変まれで、100万人中1人以下と推定されており、ワクチン接種後数分-数時間で症状が発生します。

他の薬と同様、ワクチン接種が深刻なけがや死亡の原因となる可能性は非常に低くなっています。

ワクチンの安全性確認は常に行われています。詳しくは以下をご覧ください:

www.cdc.gov/vaccinesafety/

5 重大な反応があった場合には?

どのようなことに注意せねばなりませんか?

- 強いアレルギー反応・高熱・行動の変化などがなければ注意して観察してください。

強いアレルギー反応の症状としては、蕁麻疹・顔面と喉の腫れ・呼吸困難・心拍増加・めまい・虚弱などがあげられます。これらの症状は、接種後通常数分-数時間後に現れます。

何をすべきですか?

- 強いアレルギー反応その他の緊急事態と考えられる場合には、救急車(9-1-1)を呼ぶか最寄りの病院で受診してください。それ以外の場合は、主治医に連絡をしてください。
- その後、アレルギー反応をワクチン有害事象例報告データベース (VAERS) へ報告する必要があります。医師が報告する場合がありますが、VAERSのウェブサイトwww.vaers.hhs.govで、または電話1-800-822-7967での自己報告も可能です。

VAERSでは医療に関する診断は行いません。

6 全米ワクチン被害補償プログラム

全米ワクチン被害補償プログラム (VICP) は、特定のワクチンで被害を受けた人々を救済するために設けられた連邦政府のプログラムです。

ワクチン接種による被害の疑いがある場合、電話1-800-338-2382またはVICPのウェブサイトwww.hrsa.gov/vaccinecompensationでプログラム内容を確認し、補償請求を提出することができます。補償請求には提出期限があります。

7 より詳しい情報は?

- 医師にお尋ねください。ワクチン添付文書やその他の情報源について助言を受けることができます。
- お住まいの地域か州の保健局に連絡ください。
- 疾病対策センター (CDC) にご連絡ください:
-1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO) まで電話か、
-CDCのウェブサイトwww.cdc.gov/vaccinesをご覧ください

Vaccine Information Statement - Japanese
Td Vaccine

2/24/2015

42 U.S.C. § 300aa-26

Translation provided by the Oregon Health Authority

Office Use Only

